

開発負担金制度の改正内容

| 区分 | 現 行 | 改 正 後 |
|-------------|--|--|
| 宅地開発 | 造成面積1,000㎡以上の面積に1㎡当たり650円を乗じて得た額 例：造成面積1,500㎡の場合 1,500㎡×650円+消費税 | 造成面積1,000㎡を超える面積に1㎡当たり650円を乗じて得た額 例：造成面積1,500㎡の場合 (1,500㎡-1,000㎡)×650円+消費税 |
| 建築物 | 計画1日最大給水量5㎡以上の水量に1㎡当たり13万円を乗じて得た額 例：給水量10㎡の場合 10㎡×130,000円+消費税 | 計画1日最大給水量5㎡を超える水量に1㎡当たり13万円を乗じて得た額 例：給水量10㎡の場合 (10㎡-5㎡)×130,000円+消費税 |
| 申請者施行に伴う事務費 | 申請者施行工事設計額より算出し賦課 | 廃 止 |

農業者年金に加入しましょう

制度の特徴

農業者年金制度は、農業者の老後生活の安定と福祉の向上に加え、担い手を確保するという目的を併せ持つ年金です。平成14年1月1日から積立方式が採用され、加入者数などに影響されにくい長期的に安定した制度となっています。

国民年金の第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方は、誰でも加入できます。配偶者や後継

水道の開発負担金制度を改正

山武郡市広域水道企業団の給水区域内で、水道を新しく引かれる場合は、工事費とは別に開発負担金を納めていただいています。申請者の開発行為を促進し

水道加入の増進を目的として、平成25年4月1日より開発負担金制度の一部を別表のとおり改正します。

間山武郡市広域水道企業団 施設課 ☎(55)7855

少子高齢時代に強い年金です

自ら積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる積立方式(確定拠出型)の年金です。年金額が加入者・受給者の数に影響されない安定した年金制度で、運用利回りの状況などで保険料が引き上げられることはありません。

保険料の額は自由に決められます

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料は月額2万円から6万7千円までの間で、千円単位で自由に選択することができます。経営の状況や老後設計に応じていつでも見直すことができます。

税制面でも大きな優遇措置があります

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります。さらに、将来受け取る農業者年金は公的年金等控除の対象となります。

終身年金で80歳までの保証

一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります。認定農業者で青色申告をしている方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、国から月額最高1万円の保険料補助があります。

間山武郡市広域水道企業団 施設課 ☎(55)7855

入札結果の公表

町が発注する建設工事、業務委託、物品購入等の入札結果のうち、主なもの(落札金額が工事500万円以上・業務委託300万円以上・物品購入等200万円以上)について公表します。

なお、そのほかの結果も含め、全入札結果は、入札情報サービス、役場受付行政情報コーナー、財政課で公表しています。

間山武郡市広域水道企業団 財政課

☎(70)0312

注：金額は税込表示

9月13日一般競争入札実施分

- 件名 道路改良工事
場所 大網白里町南玉地内
落札業者 (株)萱生工務店
落札金額 10,710,000円
- 件名 水路改修工事
場所 大網白里町清名幸谷地内
落札業者 (株)鶴沢工務店
落札金額 5,880,000円
- 件名 ガス導管敷設工事(平成24年度区画整理関連)その1
場所 大網白里町駒込地内
落札業者 (株)加藤工業所
落札金額 5,019,000円

9月28日指名競争入札実施分

- 件名 リサイクル物品売払業務(後期)
場所 大網白里町大網115番地の2他
落札業者 美濃紙業(株)
落札金額 2,404,017円

コスモス通信

※敬称略



秋季町民野球大会

優勝 フェニックス
準優勝 ハリケーン
第3位 大網クラブ
白里SPS
最優秀選手賞 滝口 正和
(フェニックス)



▲優勝した「フェニックス」

敢闘賞 羽生 敬一

(ハリケーン)
打撃賞 滝口 侑希
(フェニックス)

秋季町民テニス大会

優勝 杉本 周平
準優勝 田中 三千生
第3位 荒川 雄一

60歳以上男子ダブルス

優勝 小田・龍野 組
準優勝 浜田・椎原 組
第3位 吉永・大窪 組

一般男子ダブルス

優勝 戸高・西村 組
準優勝 松本・川崎 組
第3位 熊谷・江畑 組

一般女子ダブルス

優勝 伊藤・谷口 組
準優勝 武藤・高島 組
第3位 大谷・田綿 組

混合ダブルス(Aクラス)

優勝 西村・田綿 組
準優勝 佐藤・佐藤 組
第3位 田中・伊藤 組

混合ダブルス(Bクラス)

優勝 吉永・浅沼 組
準優勝 菊池・菊池 組
第3位 堀・本下 組

第16回町長杯争奪記念大会

優勝 大網クラブ
準優勝 本宿クラブ
第3位 わらび台 永明クラブ

大網白里「五十八年の歩み」②

両総用水通水

今年の夏は雨が少なく、非常に暑い日が続きました。町内の水田には稲穂がたわわに実り、今年も豊かな収穫の秋を迎えることができました。

町をつくらせた基盤整備

基盤整備事業は土地改良事業の代名詞ともいわれる事業です。それまでであった不整形で耕作に不便な水田や、牛や馬車が通れる程度の狭く曲がりくねった道路などを事業区域に取り込み、四角い水田に造り替えるのと併せて、農地に水を送るための水路や排水路、そして直線の道路など、現在、私たちが身近な公共物として使っている道路や水路が個々の農地の面積を減らして、この事業により生み出されました。



合併により大網白里町が誕生して三年後、昭和三十年七月、戦時中から工事が進められていた両総用水国営幹線がついに東金まで通水し、長く干ばつに苦しんだ大網白里の人々にとって安定した生活への希望となりました。

両総用水の通水と相前後して、町内の各地で用水を町内の隅々まで送水するため、大網支線、増穂支線、

さらに東金の福岡分水から白里地区へと水を送る福岡支線など、県営の支線用水路や各地区単位での基盤整備事業などが着手されました。このように昭和三十年代から四十年代前半にかけて、町のほとんどの地域で土地改良事業が実施され、その結果として現在の大網白里の原型が形成されたのです。

生涯学習課 生涯学習班